

資料提供	
令和5年5月8日	
担当課 (担当者)	美術館整備局 美術館整備課 (兼 博物館 美術振興課)
電話	0857-26-8045

## 令和5年度 鳥取県立博物館 学校&地域でアート 第1回コレクション宅配便 「作品をよく見て話す鑑賞！ in 鳥取看護大学」の開催

本事業は、鳥取県が所蔵する美術コレクションをより多くの方に、身近な場所で鑑賞してもらおうと共に、2025年春の県立美術館開館に向けて機運醸成を図り、「美術館に行ってみた」という気持ちの高まりを育むことをねらいとして開催しているアウトリーチ事業です。

本年度第1回目となる今回は、鳥取看護大学の学生を対象に、当館所蔵の美術作品9点を持ち込み、対話型の鑑賞授業を行います。授業の中では、県立美術館のPRも行う予定です。については、本事業についてぜひ取材いただきますようお願いいたします。

### 1 実施日時・場所

令和5年5月11日(木) 10:45~14:30

鳥取看護大学 シグナスホール内アリーナ (倉吉市福庭 854)

### 2 当日の詳細なタイムスケジュール

10:45~12:15 (2限目授業「スタディスキル」として、学生40名)

12:15~13:00 (学内教職員・学生等)

13:00~14:15 (3限目授業「スタディスキル」として、学生40名)

### 3 展示作品

橋本興家 (はしもと・おきいえ) 《縞衣の女》木版画 75.0×52.0cm

深澤幸雄 (ふかざわ・ゆきお) 《魅惑的な影》エッチング 49.9×35.4cm

橋本興家 (はしもと・おきいえ) 《白》木版画 54.0×41.5cm

橋本興家 (はしもと・おきいえ) 《赤》木版画 54.0×42.5cm

橋本興家 (はしもと・おきいえ) 《青》木版画 54.0×42.5cm

野崎信次郎 (のざき・しんじろう) 《Today(86-A)》木版画 53.0×39.8cm

野崎信次郎 (のざき・しんじろう) 《Today's Landscape(山なみ)87-A》  
53.0×40.0cm

辻晋堂 (つじ・しんどう) 《ワシ》陶彫 19.0×23.0×28.0cm

辻晋堂 (つじ・しんどう) 《裸体》木彫 30.2×41.5×27.4cm



橋本興家《青》  
1981年 多色木版・紙



深澤幸雄《魅惑的な影》  
1997年 エッチング・紙



辻晋堂《ワシ》  
1974年 陶彫

※対話型鑑賞は、1980年代半ばにアメリカのニューヨーク近代美術館で(MoMA)で開発されたアート鑑賞法の一つである。当初は子ども向けの鑑賞法として紹介されたが、以来、アートを通じて様々な力が育まれる教育カリキュラムとして学校や美術館・博物館で導入されているだけでなく、近年では企業研修や医療現場などで、大人の能力開発の方法としても広く取り入れられている。作品やグループでのやり取りを通して多種多様な視点や価値観に気づくことは、患者さんに対する観察力、共感力、コミュニケーション力等を育むことにつながると言われ、医学教育の未来に向けて大きく期待されている。日本では、まだまだ知名度が低いですが、欧米では、このアート教育と医学教育を結びつけるという教育方法を取り入れている医科大学は、ハーバード大学医学部をはじめとてかなりの数に上っている。

**鳥取看護大学での授業実践は昨年度に引き続き2年目の試みである。**